

今週のモーニングセミナー報告

令和4年6月15日(水)の講話 <第896回>

テーマ：女性起業の光と影 ～スピリチュアル起業3年目を迎えて～

講師：香川県高松南倫理法人会 幹事 Apport 天使の羽 鴻上 朕絵子 様

東かがわ市出身、三本松高校卒業後、看護専門学校へ進学、県立病院勤務、勤務病院の転勤、看護師の仕事の経験と大変さを説明。転勤族の御主人と結婚、寿退社。三重県桑名市、岡山県津山市と夫の転勤に合わせて引っ越し。子供(娘さん)二人と共に家の中だけの専業主婦。そうしているうち、社宅の中でプリンを買ってくれた友人もできた。再び高松に転勤した時、元の勤務病院、中央病院救命救急センターに勤務。夫に相談しても「自分で決めたらいい～」といわれ、言葉を掛けてくれない夫に不満。そうしてある夜勤の日、心筋梗塞の人の血まみれの場所に・・・フル回転で仕事をしていた自分の全部止まって意欲が無くなった。仕事を休む。その後占いにハマる。あらゆる占いへ行く。以前言ってもらったことも忘れていた。精神科に診てもらい。適応障害といわれる。周りのママ友の影響もあり教育熱心、ガチガチの教育ママをしていた。ある占いで「手を握って観てくれる人から」全盛の縁でいじめられて成長する縁があるといわれる。その言葉が腑に落ちる。コンサルの先生のアドバイスからスピリチュアルで起業する。そして稲沢会長の時、高松南倫理法人会に出会う。夫婦の会話がなく「夫婦対鏡」夫に手紙を書いて伝えていた。「倫理やっても夫婦愛和だけはやりません～」と言っていた。ネコを勝手に飼うと「傲慢や～」といわれる。仕事も忙しくなり、娘の懇談会の予定を忘れて、「娘に死ぬほど怒られた～」子供が保健室登校になり、娘の才能を見ていなかった原因は私や～、子供たちへの優しさがなかった。子は親の心を実演する名優。元を忘れず末を乱さず。夫のぶれない心のお陰で生きて来れた、わがままな私が花咲けるのは、土であるダンナのお陰だと今おもえる。感情の起伏が良く伝わってくるエネルギー一杯の人柄が好感。どんなことがあっても大丈夫、そんな元気を鴻上さんから頂きました。

担当者：赤山 芳隆

看護専門学校に通っていた時はよくもてた。卒業後に白鳥病院に勤務して、よくできる人のまねをしていき仕事を覚えていった。結婚して2人の子供を出産、主人の転勤があり三重、岡山、高松、大阪と住む。大阪に住んでいた時に仕事終わりにいろいろな占いを受けに行く。適応障害と診断され病んでいた時期があった。2019年にスピリチュアルサロンApport天使の羽を設立した。稲沢会長時代に倫理法人会に入会した。コロナ過でも売り上げが伸びる。夫婦の事、子育ての事、いろいろなことを乗り越えてチャレンジしている人だなあと感じました。本を忘れず、末を乱さずという倫理法人会で学んだ言葉から家庭が大切で女性起業について話されました。いろいろな能力のある人なのだと思います。また人をひきつける魅力のある人だと感じました。ふるさと東かがわ市での講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは6月22日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「純粋倫理の三つの特徴」と題しまして(一社)倫理研究所 理事 野中産業(株)代表取締役 野中真一郎 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 29 社 29 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp